

## 「今どきの子どもの友人関係とは」

## こんなことはありませんか？

中学2年生のえみさんは、スマホを使い始めて片時もスマホを離しません。食事の時も、家族でくつろいでいる時も、SNSで友だちとやり取りをしています。

見かねて、父親が注意をすると「すぐに返信しないと会話からはずされて、悪口を言われるんだよ。」と答えました。



## ワーク1

このエピソードを読んで感想を話し合いましょう。

---

---

えみさんは、本当はどうしたいと思っているのでしょうか。えみさんの気持ちになって考えてみましょう。

---

---

## ワーク2

中学生になってからの子どもの友だち関係について、変わったこと、もしくは気になることを話し合ってみましょう。

## ◇他の方の意見をメモしましょう◇



今日気が付いたこと、わが家でもやってみようと思ったことは何でしたか？





今日からぜひやってみてくださいね。お疲れ様でした。



今どきの子どもたちは、スマホ・ケータイを使って、つながっていることが多く、実態が周りからは見えにくくなっているのが現状かもしれないね。しかし、親は子どもの様子を見ておかしいと思ったら、声をかけ、見守ることが大切。そのためにも子どもの友だちを普段から知って、友だちの親さんとも話ができる関係になっているといいね。

## ねらい

- 思春期の子どもの友だち関係について親同士で情報交換をし、この時期の子どもの人間関係の見守り方や支援の仕方などについて考えましょう。

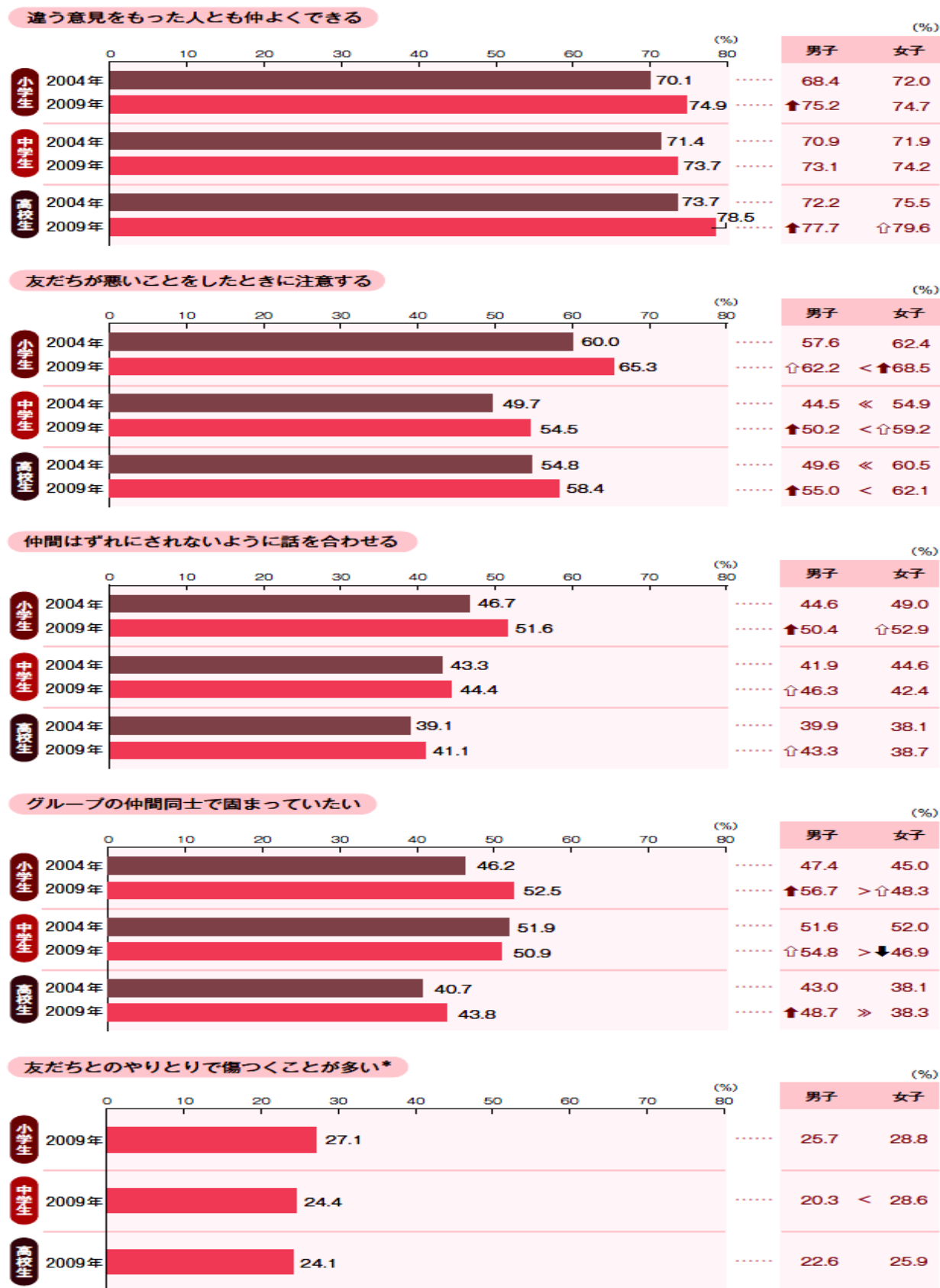
時間	進め方	留意点
10分	<p><b>はじめのことば</b></p> <p>「みなさん、こんにちは。本日は参加いただきありがとうございます。今日は子どもの友人関係について考えましょう。」</p> <p><b>アイスブレイク</b></p> <p>「最初にみなさんと簡単なゲームを楽しみましょう。では、やり方を説明します。」</p> <p>◆グループ内でペアを作ってインタビューをします。グループ内の人にインタビューした相手のことを紹介します。</p>	<p>◇笑顔で親しみやすい言動を心がける。</p> <p>小道具として「お茶」やちょっとした「お菓子」があると、やわらかい雰囲気を演出し、話も弾みやすくなる。</p>  <p>◇(6)アイスブレイク② 参照。</p> 
30分	<p><b>3つの約束の確認</b></p> <p>「では、これから活動に入りますが、その中でみなさんに守ってほしい約束が3つあります。」</p> <p>◆3つの約束を確認する。</p> <p><b>ワークショップ</b></p> <p>「まず、ワークシートをご覧ください。」</p> <p>◆『こんなことはありませんか?』を読む。</p> <p>&lt;ワーク1&gt;</p> <p>「感想を話合いましょう。」</p> <p>◆ワークシートに考えをメモし、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わが家では、使用場所・時間を決めていることを友達にも伝えるように言っている。</li> <li>・何をやっているか実際つかめない。</li> <li>・子どもも本当はスマホに縛られたくないと思っているのではないか。</li> </ul> <p>&lt;ワーク2&gt;</p> <p>「中学生になり、小学生の時とは違うなぁと感じることや、子どもの様子で気になっていることを話してください。」</p> <p>◆ワークシートに考えをメモし、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の様子や友だちのことを話さなくなった。</li> <li>・どこまで聞いていいのか悩んでいる。</li> <li>・スマホに夢中で就寝時間が遅くなった。</li> </ul>	<p>◇(3)3つの約束 参照。</p> <p>◇家庭内の話題も出るため、信頼関係が大切であることを理解してもらう。</p> <p>◇よい聞き方を具体的に紹介して、広める。 (5)進行役 聞き上手になるポイント 参照。</p> <p>◇ワークシートにメモする時間がなければ、そのまま交流に入ってもよい。</p> <p>◇参加者が話しやすくなるよう、進行役が最初に困っていることや悩んでいることを話すとよい。</p> <p>◇時間配分を考え、全員に話す機会を与える。</p>
20分	<p><b>振り返り</b></p> <p>「今日の話し合いを聞いて、いいと思ったこと、やってみようと思ったことは何ですか。」</p> <p>◆ワークシートに考えをメモし、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親も交流して、情報交換できる環境を作っておくことは良いことだと思った。</li> <li>・日頃から子どもの話を聞く姿勢と、子どもから話をしてもらえ関係を作っておく。</li> </ul> <p>「いろいろな意見の中には、今日からいかせそうなヒントがありました。私は〇〇さんの△△という意見がなるほどと思いました。話し合うことで気持ちりが軽くなった方もみえるでしょう。これからは積極的にこうした機会を活用してください。」</p>	<p>◇代表で1～2人に話してもらう。</p> <p>◇時間があれば、資料1、2を配布し、読む。</p> <p>◇進行役が参加者と同じ目線で「こんなヒントをもらった」という話ができるとうい。</p>

# 15 友だち（～中学校）

## 資料1

Q. 友だちとの関係について、次のようなことはどのくらいありますか。

友だちとのかかわり（経年比較 学校段階別・性別）



注1) 「とてもそう」 + 「まあそう」の%。

注2) ↑は5ポイント以上増減した項目、↑は3ポイント以上増加した項目。また、男子と女子との間で5ポイント以上差がある場合は<>、10ポイント以上差がある場合は<>>で示している。

注3) \*は2009年調査のみでたずねている。

## 気をつかうんです 人間関係

この時期の子どもたちは、親からの心理的な自立が始まり、同年代の友人との関係が重要になってくる時期です。その関係づくりに一番敏感な時期ともいえます。

この時期の子どもの気持ちに寄り添い、友好的人間関係を築けるよう親として見守りましょう。



### この時期は、友だちの影響を受けやすい

思春期は仲間や友だちの存在が、家族以上に重要になる時期でもあります。家族よりも、友だち同士のルールの方が大切になり、ときには親にうそをついてでも、友だち同士のつながりを守ろうとすることもあります。それだけに友だちからの影響は大きく、「いじめ」も問題になりやすいのです。

### 子どもの交友関係を把握

中学時代は、小学校以上に交友関係が広く深まり、行動範囲も飛躍的に広がります。子どもの友だちの顔や名前、住んでいる場所など知っておくなど、交友関係を把握しておきましょう。

### スマホ・ケータイ使用の約束

スマホ・ケータイを与えるにあたって、使用場所・時間など、「わが家のオリジナルルール」を作ることは、子どもを縛ることではなく、子どもを守ることです。ルールはそれぞれの家庭と環境に合わせて、子どもと一緒に話し合いながら子どもが実行できるような無理のない具体的なルール作りをしましょう。また、ネットの危険性を話し、友だちとのトラブル回避につとめましょう。